

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客から景気の良い話をよく聞く。また出店している建物の賃貸料が値上がりしている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・地域への旅行客が増え、地域全体に活気が出ている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数、販売単価ともに上昇している。
		乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・全体的に、欲しい物にはある程度お金を出すという傾向がみられる。高額車種がどんどん売れるというわけではないが、デフレからは少し抜け出している。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日の来客数が非常に増えている。企業関係の利用が回復している。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来客数は安定しており、購入に真剣な客が多い。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・名古屋駅前の高層オフィスビルが完成間近になり、関連企業の移転により近隣のオフィスビルも居住用の集合住宅も不足気味である。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・必要以外の物にはまだ財布のひもは固いが、来客数が若干増加して販売量も増えている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・客単価が上昇している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客の購買意欲は若干上がってきている。季節物の動きが非常に良くなってきている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・中部国際空港開港と愛知万博開催の特需があった前年同月と比べても少々のマイナスで済んでおり、個人消費は少しずつ回復している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・ほとんどすべての商品群で、販売量は増加傾向にある。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・特にギフト商品がよく売れている。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・安い商品を求める客が多いが、高額で良い商品を積極的に購入する客も増えている。高額商品を買う客が増えているため売上は増加している。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・ただ安いだけの商品ではなく、質の良い割安な商品がよく売れており、消費者の消費意欲は高まっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・百貨店の客層は通常40～50代が多いが、今月に入り結婚式用や入学式用の靴等を買いに来る若年齢層の客が増加している。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・婦人服、紳士服のファッション商材が引き続き好調である一方、これまで長期間不調で売上の前年割れが続いていた子供服も前年以上に売上が増加している。これにより、不調商材がほとんど見当たらなくなっている。		
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・外商の売上も徐々に回復している。		
スーパー（店長）	単価の動き	・好調さが売上などの数字にも表れてきている。		
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年比98%と低迷しているが、やや回復傾向にある。客の商品に対する上質志向が徐々に広まりつつある。		
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・産地直送セールに客が集まり、全体の販売量も増えている。		
スーパー（営業担当）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、来客数、販売点数とも前年を3%上回っており、売上は前年比微増となっている。		
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・客単価は上がっていないが来客数は増加しており、販売量も米飯を中心に増えている。		
コンビニ（店長）	来客数の動き	・買上単価が若干上昇している。		
衣料品専門店（企画担当）	単価の動き	・季節の定番商品の売上が増加している。平均単価も上昇しており、単価の低下傾向に歯止めがかかっている。		

	家電量販店（店員）	販売量の動き	・春商戦でパソコンなどの動きが良くなっている。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・単価が上昇しておらず売上にはつながっていないが、来客数は増加している。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・車検台数、整備件数が増えている。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・決算月ということ割り引いても、来客数は多く成約率も上がっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・グリーン税制の見直しに伴う駆け込み需要で、登録台数は前年を大きく上回っている。高額車両の登録も順調に伸び、質、量ともに確保している。
	住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・民間会社の工場、オフィスの新設建築工事、商業施設の新規建築などが増加している。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	販売量の動き	・買上点数が増加している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチタイムに3、4人のグループで来店する客が目立っている。回転もよく、売上増加に貢献している。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・1、2月に比べて販売量は毎日確実に増加している。その結果、売上予想も立てやすくなっている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・メーカーなどの活況が波及してきて来客数は増加傾向にあり、いよいよ景気が上向いてきた手応えを感じる。
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・客単価が宿泊、レストラン、宴会とも上昇している。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・春休みの最初の週末は各地のホテルも満員で、宿泊料の高い安いは別として、旅行人口は増えている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昨年は年末の繁忙期は良くても1、2月になると途端に悪い状態に戻っていたが、今年は3月に入ってもやや良くなっている。
変わらない	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・食料品、雑貨の動きが活発化してきているが、ミセス、キャリアの婦人服と子供服の動きが若干悪い。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・大型店の出店ラッシュに加えてコンビニの新規出店もあり、客は分散している。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数は増加しているが、客単価が低下している。
	スーパー（店員）	販売量の動き	・売上は特に週末に伸び悩むなど前年比95%前後で推移しており、相変わらずである。ひな祭り商戦も思わしくない。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客の購買の様子を見る限りでは、安定しているようである。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の前年比は依然として100%割れしている。消費者の購買意欲の停滞も続いている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の回復は依然として見られず、平均して前年を5%以上下回っている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少に加えて、客単価も低下しており、売上は伸びていない。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・客は地域の中小企業に勤めている人が多いが、その消費は相変わらず伸びていない。
	家電量販店（店員）	単価の動き	・テレビやパソコンがあまり良くないが、エアコンや乾燥機能付きドラム式洗濯機など白物家電の動きは良く、全体として変わらない。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・受注台数は久しぶりに前年実績を上回っているが、相変わらず小型車化が続いており、単価は逆に15万円ほど低下している。
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・販売台数は前年並みに推移しているが、競争が激しく、単価は年々低下しており、前年を維持するのが困難になっている。単価を台数でカバーするのが困難な状況である。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客と会話していると、景気の良い人と悪い人とで極端な差が出てきている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・決算期で来客数、販売量とも増加しているが、前年並みである。

		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・小物やメンテナンス用品が少し売れ始めている。冬タイヤから夏タイヤへの履き替えもあり、少しは息をつけた感があるが、売上は変わらない。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・歓送迎会の利用が少しあり、売上は前年比では減少しているが、前月よりは増えている。しかし、天候の影響もあり、暇な日と混む日の差が顕著に出ている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・繁華街の人出は増えており、タクシーがつかまらない日もある。送別会等の利用が昨年より増えており、売上は前年に比べて1割ほど増加している。
		都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・宴会単価、宿泊単価のいずれも、依然として厳しい状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・送別会など利用状況は例年並みであるが、客単価は低下している。
		旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・旅行者数は確かに回復傾向にある。しかし一方で、原油価格の高騰による航空運賃の高止まりなどにより、収益面に影響が出ている。
		通信会社（開発担当）	お客様の様子	・光通信サービスの契約が相変わらず好調に推移している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・来客数は落ち着き始めており、これまでの回復傾向は止まっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の回転は相変わらず悪い。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・金利の上昇気配があり、早めに購入しようと検討する客が引き続き増えている。
やや悪くなっている		スーパー（仕入担当）	競争相手の様子	・近くの競争店が24時間営業を開始したため、夕方から夜間にかけての来客数が大きく影響を受け、売上は約10%減少している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数は前年並みか前年を超える店も出てきているが、客単価が低下している。これまで衝動買いを誘っていた商品がほとんど売れなくなっている。
		その他専門店【貴金属】（店長）	単価の動き	・客は良い物は良いと分かっており、良い商品が欲しいと言うが、最終的には安い商品に決める。
		美容室（経営者）	それ以外	・パーマの需要は減っているが、カラーの需要は伸びている。ただし、自分でできるヘアカラー商品で済ます客も多く、美容院から客足は遠のいている。
		その他サービス【語学学校】（経営者）	販売量の動き	・ここ1か月で退校者数が増加しているが、それを補う入校者がみられない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・住宅の契約件数が減少している。
悪くなっている		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・衣料品は、国産品はますます売れなくなっており、販売数量は確実に減少している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・今月も月初めが寒かったせいか、来客数が少ない。24日ごろから徐々に増えて来ているが、やはり客足は悪い。
		設計事務所（営業担当）	それ以外	・仕事量が減少している
企業動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	紙加工品【段ボール】製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大きな販売増にはなっていないものの、環境重視素材の新提案が受け入れられつつある。 ・仕入価格が上昇しているが、販売価格に転嫁できない場合があり、価格面はなかなか難しい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに、前年比103～105%となっている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先では新規開店、事業拡大の動きがみられる。
		電気機械器具製造業（企画担当）	競争相手の様子	・競合他社も含めて、業界の売上は増加傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主力取引先からの受注量が当初見込みよりも徐々に増加している。

		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・海外向け貨物など輸出関連が順調に伸びている。また、自動車関係、半導体、IT関連で順調な動きを見せている。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・自動車工場へ納入するプラント製品をはじめ、豊橋港の輸入コンテナの動きがとても活発になっている。また輸出用の超大型電線ドラムの出荷も大幅に増えている。
		公認会計士	それ以外	・顧客先企業では設備投資意欲が向上してきている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・三重県北中部の市街地では、東京などから資金が流入しており、地価が底堅い状況になってきている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・確定申告状況を見ると、アパート、マンションの不動産貸付業が、低金利にも支えられ、少ない経費で利益を出して好業績である。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・平成17年の確定申告を担当するなかで、黒字決算の事業所が多い。また、土地の譲渡、住宅の取得が、前年に比べて増えている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	それ以外	・今まで取引がなかった企業からも引き合いがあり、案件を受注している。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・企業の設備投資機会は多く、現在の受注で手いっぱいになって人手不足になっている。今後も金融引締めがなければ、経済の拡大は続いていく。
変わらない		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・決算期末を迎えているが、売上計画は何とか達成する見込みである。ただし、損益面では今一つである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内で低迷を続けていた製品は、年度末需要の一時的要素もあるが、多少改善の兆しが見え始めている。米国では引き続き堅調な動きである。その他製品では引き続き価格競争が厳しい。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・企業、個人とも引き合いは堅調に続けているが、土地が見付からず受注につながっていない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷動きは前年同月と比べると鈍い。最終消費の動きが量から質へと変わりつつあることを反映している。
		輸送業（エリア担当）	受注価格や販売価格の動き	・荷物は前年同月比約105%と増加しているが、荷物のトン当たり運賃は前年を下回っている。
		金融業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・住宅ローンが引き続き堅調であり、低金利の影響もあるが、個人の不動産購入意欲は強い。
やや悪くなっている		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・取引先の中には製品価格の下落に非常に苦しんでいるところが多くあり、当社にコストダウンを強く求められ、利益は必然的に圧迫されている。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築物の確認申請や公共物件の発注の遅れが目立つことに加え、自動車関連などではメーカーから下請企業への支給材供給が増えているため、受注量にかなり影響が出ている。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・生産量は増えているが、一時的な増加で取引先からは納期も短く設定されており、生産能力が追いつかず、かえって効率が悪くなっている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・米国の大手自動車メーカーの不振に伴い、取引先の大手部品メーカーが倒産し、その下請で実施予定であった設備投資計画が中止になっている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の投資意欲は減退しており、より堅実な投資になってきている。
悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・設備の老朽化に伴い消耗品費や修繕費が集中的にかさんだため、やや増収ながら大幅減益となっている。
		金属製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料価格は高止まりしているが、販売価格は相変わらず競争が激しく、値上げできないため、利益の確保が大変難しい状況が続いている。
雇用関連	良くなっている	人材派遣業（経営企画）	周辺企業の様子	・引き続き、取引先からの技術者ニーズはおう盛である。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は引き続き増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は引き続き増加傾向にある。特に金融関係では経験者、資格保持者の求人が常時ある状態で、該当者はすぐに採用が決まっていく状況である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の需要は前年並みであるが、長期派遣の比率が高まっている。

	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・紹介予定派遣や職業紹介の案件が増えていて、企業の正社員採用が活発になっている。
	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・求人数が増加しているが、新年度の人材補給とも考えられ、企業の採用活動に幅が出てきている。
	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・派遣社員の引き合いが増加していることに加えて、紹介予定派遣も増加しており、前年比で2けた以上の伸び率となっている。新卒採用を昨年以上に増やしている企業も多く、前向きな採用が増えている。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・求人広告件数は前年比約3割増で、正社員募集が確実に増えている。待遇面も向上してきているが、待遇を改善しないと人が集まらない状況となっている。派遣会社でも人材を集めるのに苦労している。
	職業安定所 (所長)	求人数の動き	・月間有効求人倍率は1.74倍と前年同月比で0.05ポイント、前月比で0.08ポイント上昇しており、企業の採用意欲はおう盛である。
	職業安定所 (職員)	採用者数の動き	・パート、派遣などの非正規雇用求人増加により、新規求人数は増加している。2月の就職件数も前年同月比10.4%増と、2か月連続の増加になっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・2月の新規求人数は前年同月に比べて12.7%増と、2か月連続の増加であり、2けた増は昨年3月以来である。
	職業安定所 (管理部門担当)	求人数の動き	・求人倍率は依然として高水準で推移しており、人手不足の状況が続いている。ただし正社員の選考基準は高い。
	民間職業紹介機関 (経営者)	採用者数の動き	・技術職や営業職に加えて一般事務職の採用も活発化している。また、来年度の採用計画は今期以上を予定している企業が多い。
変わらない	職業安定所 (職員)	雇用形態の様子	・求人数は一般、パートとも増加しているが、有期雇用の求人が多く、加えて企業倒産も若干ながら増加している。
やや悪くなっている			
悪くなっている			